

医師連盟だより

(第56号)

令和4年10月15日発行

<主な記事>

- ・栃木県医師連盟委員会
- ・栃木県医師連盟幹事会
- ・日本医師連盟執行委員会

栃木県医師連盟委員会



日時 令和4年9月27日(火)午後7時
場所 ホテル東日本宇都宮 3階「大和東」

出席者 (執行部)

稲野委員長
長島・小沼・浅井・青木各副委員長
滝田・草野・白石・依田各常任幹事
松本・石田・稲葉・柳川・阿久津・高野各幹事
福田会計責任者、竹村会計責任者職務代行者
齊藤会計監督者

(委員)

宇都宮=野間・増山・稲葉・大塚・飯村
上都賀=高橋・伊藤
下都賀=高田
小山=佐山・星野
佐野=綿引
塩谷=佐藤
那須=車田
芳賀=柴

令和4年9月27日(火)午後7時から、栃木県医師連盟委員会が、ホテル東日本宇都宮に於いて開催された。

冒頭、稲野委員長から参議院選挙についての御礼を述べ、さらに新型コロナウイルス感染症に関する諸問題等について別記のとおり挨拶があった。

続いて、議長選出の後、協議事項として任期満了に伴う役員改選及び会費賦課徴収規程一部改正の件、参議院選挙について担当役員から提案説明があり、それぞれ承認された。

なお、委員会の概要は次のとおりである。

<議長選出>

小山地区支部の佐山委員を選出した。

<協議事項>

(1) 栃木県医師連盟役員改選について

標記について、長島(徹)副委員長から役員案が上程され、承認された。(別掲)

(2) 栃木県医師連盟会費賦課徴収規程の一部改正について

標記について、長島(徹)副委員長から、本連盟の組織強化のため、会費徴収方法に関する規程の改正案が上程され、承認された。

(3) 参議院選挙について

7月10日に行われた第26回参議院議員通常選挙において、日医連組織内候補である自見はなこ氏は、21万3,369票を獲得し、自民党比例候補者33名のうち第8位、医療・介護・社会保障関係10名のうちトップで当選を果たす事ができた。地方区は上野みちこ氏が圧勝で当選したことを報告した。

栃木県医師連盟役員(任期:令和4年6月18日~令和6年6月)

委員長	稲野秀孝				
副委員長	長島徹	小沼一郎	浅井秀実	青木公平	
常任幹事	長島公之	滝田純子	草野英二	白石悟	
	依田祐輔				
幹事	松本国彦	大久保昌章	石田基雄	稲葉俊三	
	柳川進	吉益均	阿久津博美	塚原純雄	
	塩谷真悦	高野浩			
会計責任者	福田晴美				
会計責任者職務代行者	竹村克己				
会計監督者	齊藤伸夫	佐藤勇人			

[別記]

<稲野委員長挨拶要旨>

本日は、医師連盟委員会にご出席いただきありがとうございます。

また、去る7月10日の参議院議員選挙では、新型コロナウイルスへの対応で、ご多忙を極める中であって、みなさまのご尽力により、自見はなこ先生が無事当選いたしました。後援会活動、選挙活動にご協力を賜り、誠にありがとうございます。本日も、追って担当から報告がありますが、

医療系の団体から支援を受けた候補者の中で、トップ当選を果たすことができました。引き続き、ご支援ご協力を宜しくお願い申し上げます。

自見先生におかれましては、第2次岸田内閣において内閣府大臣政務官に就任されご活躍されております。特にこども政策、共生社会、女性活躍、孤独・孤立対策、少子化対策、男女共同参画、それに加え地方創生、規制改革、等々をご担当されております。特に、地方創生の関連では、医療機関等における物価高騰への支援の拡充を行うため、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金において「電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援地方交付金」の創設にご尽力いただきました。厚生労働副大臣に就任された羽生田 俊先生と共に、今後ともご活躍いただけるものと期待しております。

一方で、医師連盟にご参加いただいていない医師会員の先生が多くおられることも事実です。昨年度末で、医師連盟への加入率は、42.1%（連盟 982 名／医師会 2,330 名）と、半数に満たない状況となっております。ご承知のとおり、政策に対し、医療現場の声を適切に伝えて行くには、多くの医師の声として発信する必要があります。このために医師連盟としての活動が大変重要であります。

今後、より多くの先生方にご理解を賜り、ご参加いただくことで、組織強化に努めてまいりたいと考えておりますので、各支部長をはじめ皆様のご協力をお願い申し上げます。

本日は、この一環として、協議事項において、会費賦課徴収規程の一部改正を提案させていただいております。医師連盟活動に参加しやすい基盤づくりのための一つと考えておりますので、よろしくご審議願えればと思います。

本日は宜しく願いいたします。

栃木県医師連盟幹事会

日 時 令和4年9月27日（火）午後6時30分
場 所 ホテル東日本宇都宮 3階「大和南」
出席者 稲野委員長、長島・小沼・浅井・青木各副委員長
滝田・草野・白石・依田各常任幹事
松本・石田・稲葉・柳川・阿久津・高野各幹事
福田会計責任者、竹村会計責任者職務代行者
齊藤会計監督者

栃木県医師連盟委員会の開催に先立って幹事会が開催され、委員会に上程する議題が検討された。協議内容については委員会と同様につき、省略する。

また、その他において、医師連盟幹事会・委員会の開催時間および場所の見直しについて、幹事から要望があった。

日本医師連盟執行委員会

日時 令和4年7月19日(火) 午後4時～午後4時36分
場所 栃木県医師会常任理事会室(テレビ会議)
出席者 稲野委員長、長島副委員長、高橋事務局長

標記執行委員会が新型コロナウイルス感染症対策を踏まえ、テレビ会議で行なわれ、本会から稲野秀孝栃木県医師連盟委員長、長島徹栃木県医師連盟副委員長が出席した。

委員会は、小杉悟日本医師連盟事務局長の司会により、まず、日本医師連盟委員長選出の議事進行を行う仮議長の選出が行われ、金井忠男埼玉県医師連盟委員長が選出された。日本医師連盟委員長の選出に際し、金井忠男議長は、日本医師連盟委員長選出規程に基づき、「委員長は本連盟の会員であって、日本医師会との綿密な連携と協調をはかるうえでふさわしいものを選出する。委員長候補者につき、日本医師会の推薦を得ることを基本とすること」を説明したうえで、日本医師連盟委員長選出規程の手続きに従い、日本医師会からの推薦候補者は松本吉郎日本医師会会長であることを報告し、松本吉郎日本医師会会長が満場一致で日本医師連盟委員長に選出された。

挨拶に立った松本吉郎日本医師連盟委員長は「去る7月10に行われた第26回参議院議員通常選挙において、日本医師連盟の組織内候補者である自見はなこ先生は、21万3,369票を獲得し、自民党比例候補者33名のうち第8位、医療・介護・社会保障関係10名のうちトップの成績で当選を果たすことができました。これは、都道府県医師連盟、郡市区医師連盟の先生方のご支援、協力の賜物と厚く御礼申し上げます。自見先生のこれからの医政活動に対して、都道府県医師連盟、郡市区医師連盟の先生方のさらなる支援、ご協力をお願い申し上げます。日本医師会の考える医療政策などを政府与党、国会議員の先生方にご理解いただくため、組織内候補である羽生田たかし先生と自見先生とともに、医師会組織が連携をはかって、鋭意訴え掛けをすることが重要である」と述べた。

続いて議長となり、議題(1)日本医師連盟人事について、(2)第26回参議院選挙結果について上程され、すべて承認された。

(1) 日本医師連盟役員的人事について

松本吉郎委員長が議長となり、日本医師連盟役員・参与について審議し、承認された。

(2) 第26回参議院選挙結果報告について

釜范敏常任執行委員から、第26回参議院議員通常選挙結果概要(速報版)、自民党比例代表候補の獲得得票(第26回～22回)、第26回参議院選挙「自見はなこ」都道府県別得票数調、第26回・第25回・第24回参議院選挙日本医師連盟推薦候補者得票数比較、第26回参議院通常選挙日医連推薦候補者当落状況一覧について、選挙結果の分析等、それぞれ報告があった。